

「'07不登校フォーラムin八戸」が新聞で報道されました。

開催日:2007年7月15日 会場:ラピアホール 掲載:2007年7月19日/デーリー東北新聞

不登校にどう対応

「'07不登校フォーラムin八戸—ニート・不登校を克服するには」(日本教育相談研究所主催)が15日、八戸市のラピアで開催された。子供の不登校に悩む保護者や学校の教職員らが、公開討論会で専門家の意見に耳を傾けた。



専門家ら意見交換

八戸
フォーラム

同研究所は、教育関係者の相談に応じる任意団体。教育問題に関心があれば、加入できる。八戸市でのフォーラムは、今年で三回目。

公開討論会と個別相談会が行われ、専門家が保護者らにアドバイスした。

公開討論会には、元公立小・中学校校長の関根清正さん、進学塾「志学塾」の畑山篤塾長、日本航空高校通信制課程の篠原雅成校長代行がパネリストとして提言した。

関根さんは、不登校の原因について本人、家庭、学校、社会の4つの観点から、専門家3人が来場者にアドバイスしたフォーラム

「家庭、学校、社会の三つに大別し、「これらが複雑に絡

みあって不登校になる」と分析した。畑山塾長は、子供にやる気を出させるために、目標を持たせること、目録を褒めることの大切さを強調した。

篠原校長代行は、インターネットの弊害について「テロと戦うつもりで取り組まなくてはならない」と持論を展開した。